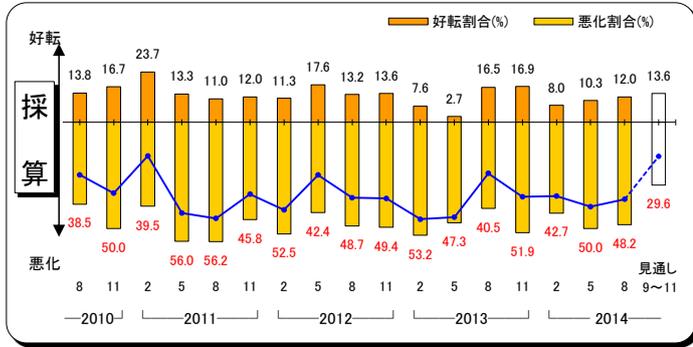
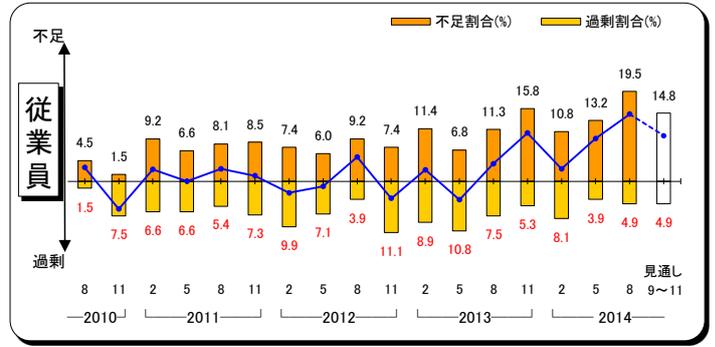
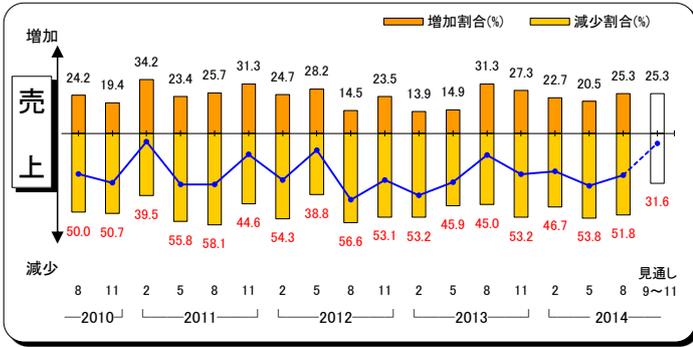
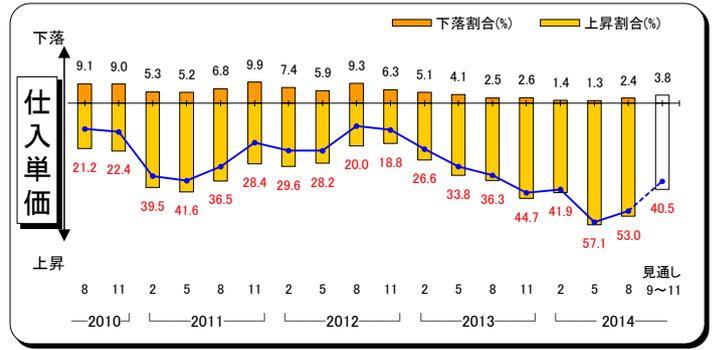
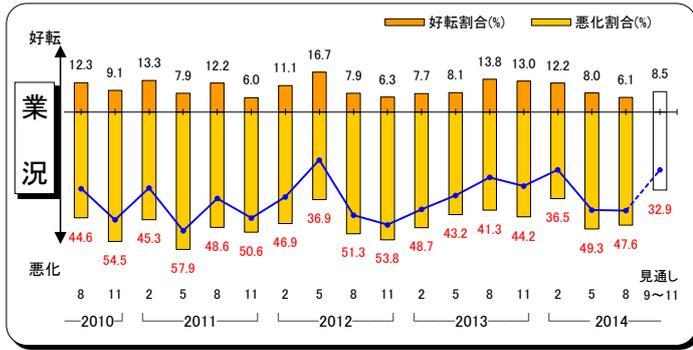


【小売業】①



【小売業】②

企業の声（順不同）

男子服小売業	消費増税による買い控えや猛暑・天候不順のため来客数が減少し、売上が落ち込んでいる。
靴小売業	少子高齢化と空家増が進行しています。地域振興対策が大切です。
パン製造小売業	人手不足が製造に大きく影響している。この状態が続くと、中小企業はますます大企業との格差が大きくなる。
自動車小売業	新卒採用でいくら内定を出しても、良いと思った人材には大手の内定もほぼ出ていて、そちらへの就職を決めてしまう。しかし、そこに3年以上勤めているかといえば、そうでもないようだ。単願制や総エントリー数の規制など、中小にも多少人材が回ってくるようにできないものか。
二輪自動車小売業	業界のトピックとして、東京オートバイ協同組合は組合員の日々の資金繰りなどで東京都の特別借換（保証付債務）を一本化し返済することをサポートしている。返済期間も延長となる。東京都は信用保証料を1/2補助し、延期つなぎ特例300万円までとなっている。さらに組合員限定の銀行系ローン斡旋も検討していて、その内容としては、担保は不利不要、第三者保証も不要、金額は500万円まで期間3年、金利3%～7%程度、となっている。
電気機械器具小売業	猛暑の影響で、エアコンの売上が好調となって何とか助けられました。9月初めからは、かなりがんばらないと大変だと思います。
医薬品小売業	保険財政に影響されるこの業界、特に一番弱い薬局のような小さな事業所は、この先全てなくなって、大資本に集中していくでしょう。これでよいのでしょうか？
燃料小売業	需要減の中で、より強い者同士の競争が激化し、採算は悪化。先行き、アルバイト等の人手不足と時給増が営業損益を悪化させる懸念大。光熱費等の一般経費もジワジワと上昇し、政府やマスコミの言う景況とは大幅なズレの感有り。
紙・文房具小売業	原発未稼働に伴い火力発電に推移しているため、コストが上昇している。
スポーツ用品小売業	個人消費はなかなか回復せず苦戦しています。政府は中小企業対策をしっかりとやって欲しいです。
がん具・娯楽用品小売業	消費増税後の状況が芳しくない。上向く雰囲気が見られない。
工業薬品・理化学機器等小売業	平成26年7月の政府等の発表で、4月～6月期のGDPは前期比年率で6.8%減少との事。もし7月～9月期も同様にマイナス成長であった場合、消費税率10%への引き上げは難しい判断になると思う。引き上げを延期してもいいと思う。